

教育委員会定例会会議録

1 日時

平成19年10月25日(木)

開会 9時30分

閉会 10時30分

2 場所

教育委員室

3 出席者及び欠席委員の氏名

出席者 山根一枝委員長、丹保健一委員、竹下讓委員、井村正勝委員、安田敏春教育長

欠席者 無し

4 出席職員

教育長 安田敏春(再掲)

副教育長兼経営企画分野総括室長 鎌田敏明

教育支援分野総括室長 東地隆司 学校教育分野総括室長 坪田知広

生涯学習分野総括室長 杉野周二 研修分野総括室長 山中良明

経営企画分野

教育総務室長 真伏利典

教育支援分野

人材政策室長 増田元彦 人材政策室副室長 望月順一

生涯学習分野

スポーツ振興室長 川畑幸永

文化財保護室長 山田猛 文化財保護室主査 村岡一幸

5 議案件名及び採決の結果

件名

議案第44号 三重県天然記念物紀州犬審査会審査員の任命について

審議結果

原案可決

6 報告題件名

件名

報告1 第62回国民体育大会の総合成績について

報告2 平成20年度三重県立学校長採用選考試験の実施について

7 選挙

選挙1 教育委員長の選挙について

選挙2 教育委員長職務代理者の選挙について

8 審議の概要

・開会宣告

山根委員長が開会を宣告する。

・会議成立の確認

全委員出席により会議が成立したことを確認する。

・前回教育委員会(平成19年10月11日開催)審議結果の確認

前回定例会審議結果の内容を確認し、全委員承認する。

・議事録署名人の指名

井村正勝委員を指名し、指名を了承する。

・会議の公開・非公開の別及び進行の確認

議案第 44 号は人事案件の為、報告 2 は、意思形成過程の为非公開にて審議することを承認する。また、選挙についても、非公開で行うことを承認する。

会議の進行は、公開の報告題 1 を報告した後、非公開の議案第 44 号を審議し、報告 1 を報告し、選挙を行うことを確認する。

・審議内容

報告 1 第 6 2 回国民体育大会の総合成績について（公開）

（スポーツ振興室長説明）

第 6 2 回国民体育大会の総合成績について別紙の通り報告する。前回の定例会でも触れさせていただきましたが、第 6 2 回の国民体育大会の詳細について報告いたします。1 月 2 7 日から 1 月 3 1 日まで群馬県で開催されました冬季大会のスケート競技会を皮切りに、今回の 9 月 2 9 日から 1 0 月 9 日まで秋田県で開催されました本大会をもって全日程を終了致しました。

本県からは延べ 4 8 9 名の選手、監督役員が 3 9 の競技に参加をしました。総合成績につきましては 1 頁にございますように、男女総合成績の天皇杯が 7 9 5 点獲得で 3 7 位、女子総合成績であります皇后杯においては、4 2 7 . 5 点の獲得で 3 8 位でございました。昨年の 6 1 回兵庫国体の天皇杯が 3 5 位でございましたので、2 位だけ下がりました。皇后杯についても、兵庫の際には 2 3 位ということで、今回はかなり落ちてしまいましたが、3 年連続で目標であります 3 0 位代を堅守することができました。

教育長にも本大会の視察激励を頂きまして、本県の選手団の奮闘ぶりをご覧頂きました。テニス・弓道・レスリングで優勝、サッカー・ソフトテニス・陸上競技・自転車・ウエイトリフティング・レスリング・馬術で 2 位に入る等の好成績を収めることができました。その他入賞者につきましては、一覧表を載せてございますのでご覧下さい。参考までに 3 頁に過去 5 年間の天皇杯の順位を載せてございます。網掛け部分が東海 4 県の順位の推移という訳でご覧いただければと思います。以上でございます。

【質疑】

委員長

はい。報告 1 について皆さんいかがでしょうか。

丹保委員

競技で三重県らしいと言うか、三重県が誇りに思っているような競技というのはあるのでしょうか。

スポーツ振興室長

はい。特に女子のサッカー、伊賀の「くのー」ですが、去年は優勝しましたし、今年も決勝まで進んで惜しくも敗れましたが 2 位でした。特出できるとしたら、女子のサッカーがまず挙げられると思います。今年初めてなのですが、弓道の女子、これも成年女子ですが優勝しまして、弓道の競技別の部門でも非常に誇りに出来ると思います。

井村委員

女子のレスリングなどは誇りじゃない訳ですか。

スポーツ振興室長

国体には、レスリングの女子というのはいないです。

井村委員

女子はない。

スポーツ振興室長

はい。

井村委員

ちょっと質問なのですが、ここに個人種目でレスリングに拓殖大学とか早稲田大学というのがありますが、これは所属でしょうか。現在の所属ということでしょうか。

スポーツ振興室長

はい。現在の所属です。ルールでふるさと制度というのがあり、出身が三重県であるということで、現在大学で他へ行っていても三重県選手となります。

井村委員

出身というのは生まれたところという意味ですか。

スポーツ振興室長

中学、高校の卒業がということです。

井村委員

それは中高時代に三重県なら三重県で生活をしたという、そういう人なのですね。

スポーツ振興室長

そうです。

井村委員

隣の岐阜県で中高時代を過ごすと、三重県にいたとしても岐阜の出身なのですね。

スポーツ振興室長

ふるさと制度であると、そういうことになります。

井村委員

この出場者全員がふるさと制度ということではないのですか。

スポーツ振興室長

大学生等を選手として出場させる場合に採用する制度です。

井村委員

そうすると、大学生は全部、故郷の中高出身のところとなるのですか。

スポーツ振興室長

その出身地で参加をすると、そういうことになります。

竹下委員

もう少し補足しますが、大学生の場合には、その大学の所属地でも出ることがあるのですか。

スポーツ振興室長

はい。出身県から依頼がなければ、今現在の大学の所属地となります。

竹下委員

出身県の依頼が優先ですか。

スポーツ振興室長

優先になります。

井村委員

全員優先ではないの。

スポーツ振興室長

全員ではないです。

井村委員

そうすると、本人は選択できる訳ですか。

スポーツ振興室長

そうです。

井村委員

現在拓殖大学だったら、私は東京都出身にしてもらいたいというケースと、いや、中highで三重県だったから三重県出身にしてもらいたいと、どちらでもいいのですね。

スポーツ振興室長

そうです。地元の方からも依頼があったら、選択は本人が出来る訳です。

井村委員

その地元の人数が少ないから、こちらの方がいいというケースもある訳ですか。

スポーツ振興室長

それは恐らく地元側が強力に依頼をするということになります。

竹下委員

企業の場合にはそうならないですか。

スポーツ振興室長

はい。企業はその企業の所属地です。

竹下委員

例えば、ここで三重県のホンダ技研に勤めている人は全部三重県で独占出来るということですか。

スポーツ振興室長

はい。そうです。

竹下委員

結構、三重県に企業は多いですが、こういう選手はあまりいないのですか。

スポーツ振興室長

ホンダとかNTNの陸上競技、松下電工などあります。松下電工のバレーなどは、ブロック予選を通過していないということです。

委員長

一見すると、個人種目の中でウェイトリフティングが沢山ありますが、三重県の高校にもありますよね。

スポーツ振興室長

高校の少年についても成年についても、体重別と言いますか、何キログラム級ということで参加しますので、数的には多くなります。あとはジャーク、スナッチという2種類あります。高校のクラブとしては4校です。

委員長

そこから育てられた方達なのですか。

スポーツ振興室長

はい。そうですね。

委員長

分かりました。高校のウェイトリフティングのレベルが高いということにもなるのですね。あまり県民に多く知られていないところだと思いますが、そういう選手を輩出して、もっとアピールをしたいと思います。

他にはどうでしょうか。ちょっと寂しい結果だと感じますので、もっともっと三重県の元気力が、こういうところで発揮されて結果につながると良いですね。

【採決】

- 全委員が本報告を了承する。 -

委員長

ここからは秘密会となりますので、傍聴の方がお見えでしたら退席をお願い致します。

議案第44号 三重県天然記念物紀州犬審査会審査員の任命について（秘密会）

文化財保護室長が説明し、委員審議のうえ決裁の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。

報告2 平成20年度三重県立学校長採用試験の実施について（非公開）

人材政策室長が報告し、全委員が本報告を了承する。

選挙1 教育委員長の選挙について（非公開）

三重県教育委員会会議規則第2条第2項の規定による指名推薦の結果、丹保委員が次期委員長に決定した。

選挙2 教育委員長職務代理者の選挙について（非公開）

三重県教育委員会会議規則第3条第1項の規定による指名推薦の結果、竹下委員が次期委員長職務代理者に決定した。